

取扱説明書 初版

タンピングランマー

HG-RM60

燃料 無鉛レギュラーガソリン

 **エンジンオイルは
入っていません。**

初めてお使いになる方、他社製品を使用し慣れている方

ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みになり、
内容を理解してからお使いください。



このQRコードを
読み取ることで、
「運転操作の仕方」などを
動画でご覧いただけます。



目次

はじめに	3	長期間使用しない時	22
安全上のご注意 製品を長くご愛顧いただくために 振動工具取扱作業安全衛生教育について		故障と思ったら	23
安全にお使いいただくために	4	消耗品一覧	25
タンピングランマーに係る安全事項	4	FAX 見積り・注文用紙	26
タンピングランマーの作業に係る安全事項	5	保証内容について	27
主要諸元	6	お客様ご相談窓口	28
各部の名称	7		
梱包部品一覧表	8		
運転前の点検	9		
燃料の点検・補充	9		
エンジンオイルの点検	9		
本体オイルの点検・補充	10		
エアクリーナーの点検	10		
フート板のボルト、ナットの点検	10		
運転操作の仕方	11		
エンジンのかけ方	11		
エンジンがかからない時	14		
エンジンの止め方	14		
本機の移動	14		
作業の仕方	15		
作業手順	15		
作業の中断	15		
作業の終了	16		
運搬、輸送について	16		
点検・整備の仕方	17		
燃料の抜き方	17		
エンジンオイルの点検・交換	17		
エアクリーナーの清掃	18		
点火プラグの点検・清掃	19		
フート板（衝撃板）の交換	20		
本体オイルの点検・交換	21		

はじめに

このたびはタンピングランマーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

**誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。
この取扱説明書を熟読しご理解してからご使用ください。
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。**

安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



警告

誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



注意

誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。



禁止

取扱においてその行為を禁止します。



指示

指示に基づく行為を強制します。

製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。
注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

振動工具取扱作業安全衛生教育について

振動を伴うタンピングランマーを長時間使用すると、手や腕がしびれたり、指が白くなるレイノー現象を引き起こすなど、振動障害を発症する恐れがあります。

振動障害は、一般的には時間をかけて進行していきますが、個人差があるため、人によっては短期間に発症することもあります。このため、工具の正しい点検や、作業時間の管理、定期的な健康診断など、適切な予防対策が重要となります。

振動障害予防のため、「チェーンソー以外の振動工具取扱作業に対する安全衛生教育の推進について」（基発第258号、昭和58年5月20日）の通達により、事業者には特別教育に準じた教育を実施するよう求められています。

安全にお使いいただくために

タンピングランマーに係る安全事項

警告



禁止

- ・燃料の臭いがする場合、運転しないでください。爆発の危険があります。
- ・エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。
- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・回転している部分の近くに手又は足を入れしないでください。
- ・エンジンの運転中や運転停止直後はエンジン本体やマフラー一部が熱くなっていますので、手・身体などを触れないでください。火傷をする恐れがあります。
- ・改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。
- ・指定された用途以外には使用しないでください。
- ・正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。
- ・未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。
- ・操作の仕方がよく分からない成年者の独自の使用はご遠慮ください。
- ・使用中は、点火プラグキャップ部や高圧コードに触れないでください。
- ・運転中に回転部及び可動部に手や足及び衣類を絶対に近付けないでください。触れると巻き込まれ重大な事故の恐れがあります。
- ・周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をしてください。
- ・改造しないでください。思わぬ事故につながる恐れがあります。



指示

- ・本機を密閉された場所に燃料を入れたまま放置しないでください。燃料が蒸発し、爆発の危険があります。
- ・自動車で運搬する時は、燃料タンクの燃料を抜いてください。振動等により燃料が漏れることがあります。
- ・給油は、必ずエンジンを停止し十分冷えた後に行ってください。又、付近にタバコ等の火気の無いことを確認してください。燃料は非常に引火しやすく、気化した燃料は爆発の危険があります。
- ・給油中にこぼれた燃料はきれいに拭きとってください。燃料を拭いた布等は、火災に注意して処分してください。
- ・燃料を衣服にこぼした場合、直ちに衣服を着替えてください。衣服へ引火する危険があります。
- ・給油は、換気の良い所で行ってください。燃料蒸気が蓄積し火災の恐れがあります。
- ・給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行ってください。静電気火花によって引火の恐れがあります。
- ・給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないようにしてください。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れることがあります。
- ・燃料タンクキャップは確実に締めてください。運転中にこぼれると火災の恐れがあります。
- ・運転前に燃料漏れがないか点検・確認してください。火災の恐れがあります。
- ・点火源となるような機器の近くに保管しないでください。燃料蒸気へ引火する恐れがあります。
- ・運転中に高圧コードや点火プラグキャップに触れないでください。感電する恐れがあります。
- ・使用中に異常音、異常振動があった時は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- ・ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上で使用ください。

注意



禁止

- ・本機は路盤の締固めを目的とした機械です。用途以外には使用しないでください。

安全にお使いいただくために

タンピングランマーに係る安全事項

注意

指示

- 燃料はレギュラーガソリンを使ってください。
- 長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- 給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
- 部品交換は、純正部品を使用してください。
- 本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。
- 定期点検整備を行ってください。
- 子供の手の届かない安全な場所に保管してください。

タンピングランマーの作業に係る安全事項

警告

禁止

- 身体の調子が悪い時、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
- 動作中にフート板（衝撃板）部分に足を近づけないでください。
- ご使用時は、人や動物が近づかないようにしてください。
- 夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。
- 足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。
- 異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本機を再始動しないでください。
- 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
- 室内、トンネル内、深い溝内など換気の悪い場所では使用しないでください。
- 火気の近くで運転をしないでください。
- エンジンをかけたまま本機から離れないでください。

指示

- 適切な時期に休憩をとってください。
- 本機から離れる時は、必ずエンジンを停止してください。
- 危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
- 持ち運ぶ時は、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜取ってください。
- 作業中は、フート板（衝撃板）に足が近づかないよう十分ご注意ください。転圧盤（フート）に足を踏まれ、大怪我をする恐れがあります。
- 作業中、停止中、保管中に本機が転倒しないよう十分ご注意ください。保管中はロープ等でしっかり固定をしてください。

注意

禁止

- 機械の稼働部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。
- エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。

指示

- 長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい靴、手袋、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。
- 長い髪は束ねて帽子、ヘルメットでカバーしてください。
- シートカバーなどは機械が十分冷めてからかけてください。
- 毎回作業前に各部のネジ等の締付け具合を点検してください。振動でネジ等が緩み、思わぬ事故の原因になります。
- 定期点検整備を行ってください。
- 常に足場に注意し、本機のバランスを保てる無理のない安定した姿勢で作業を行ってください。
- 本機を長時間保管する時は、取扱説明書にしたがって保管してください。

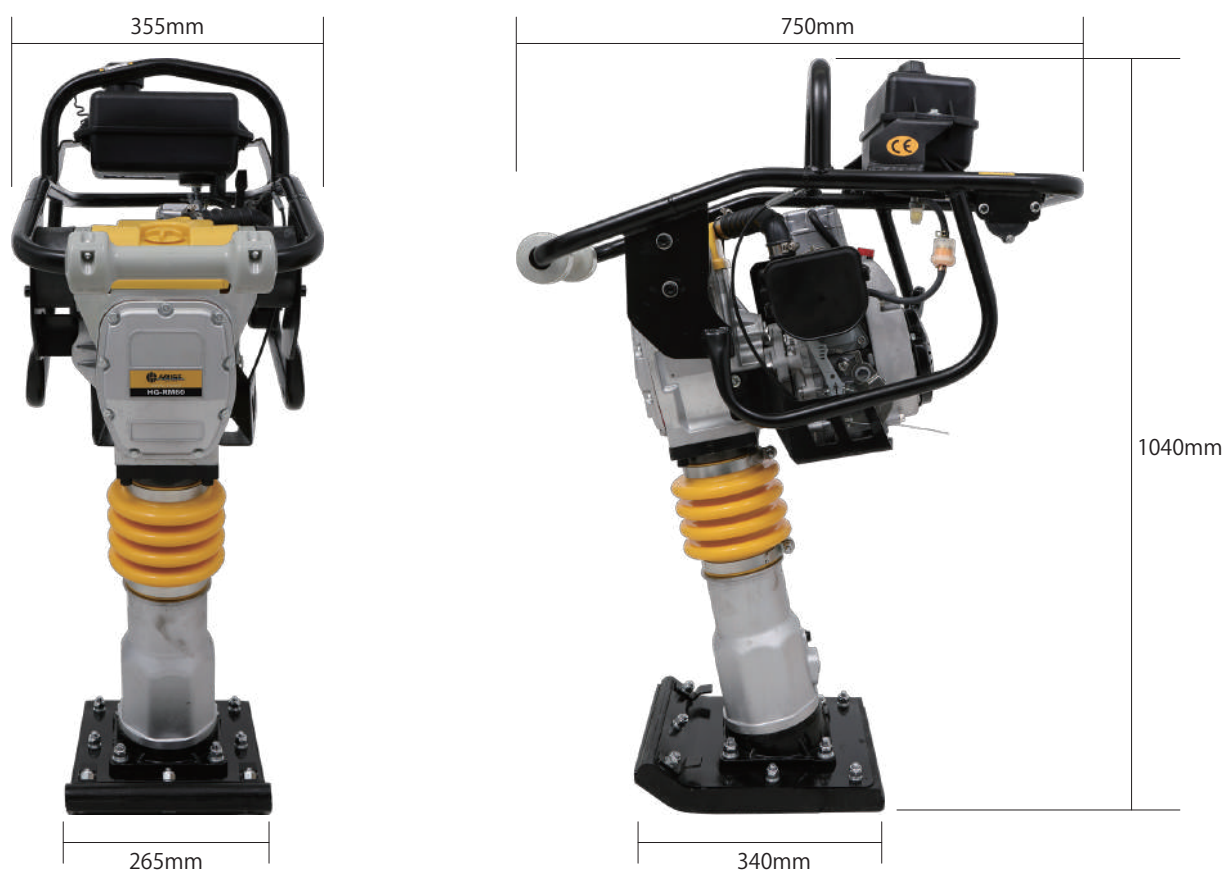
主要諸元

モデル名	HG-RM60
型式	4ストロークエンジン
排気量	121cm ³
最大出力	2.7kW/3600rpm
最大トルク	7.5N.m/2500rpm
衝撃数	610~680vpm
衝撃板ストローク	50~70mm
打撃力	13kN
作業速度	10m /分
燃料	無鉛レギュラーガソリン
燃料タンク容量	2.6L
起動方式	リコイルスターター方式
エンジンオイル	SAE10W-30
エンジンオイル容量	0.35L
本体潤滑油/容量	SAE10W-30/0.8L
点火プラグ	CR5HSB(NGK)
フート板(衝撃板)寸法	340×265mm
寸法(長さ×幅×高さ)	750×355×1040mm
本体重量	60.4kg(潤滑油0.8L含む)

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。

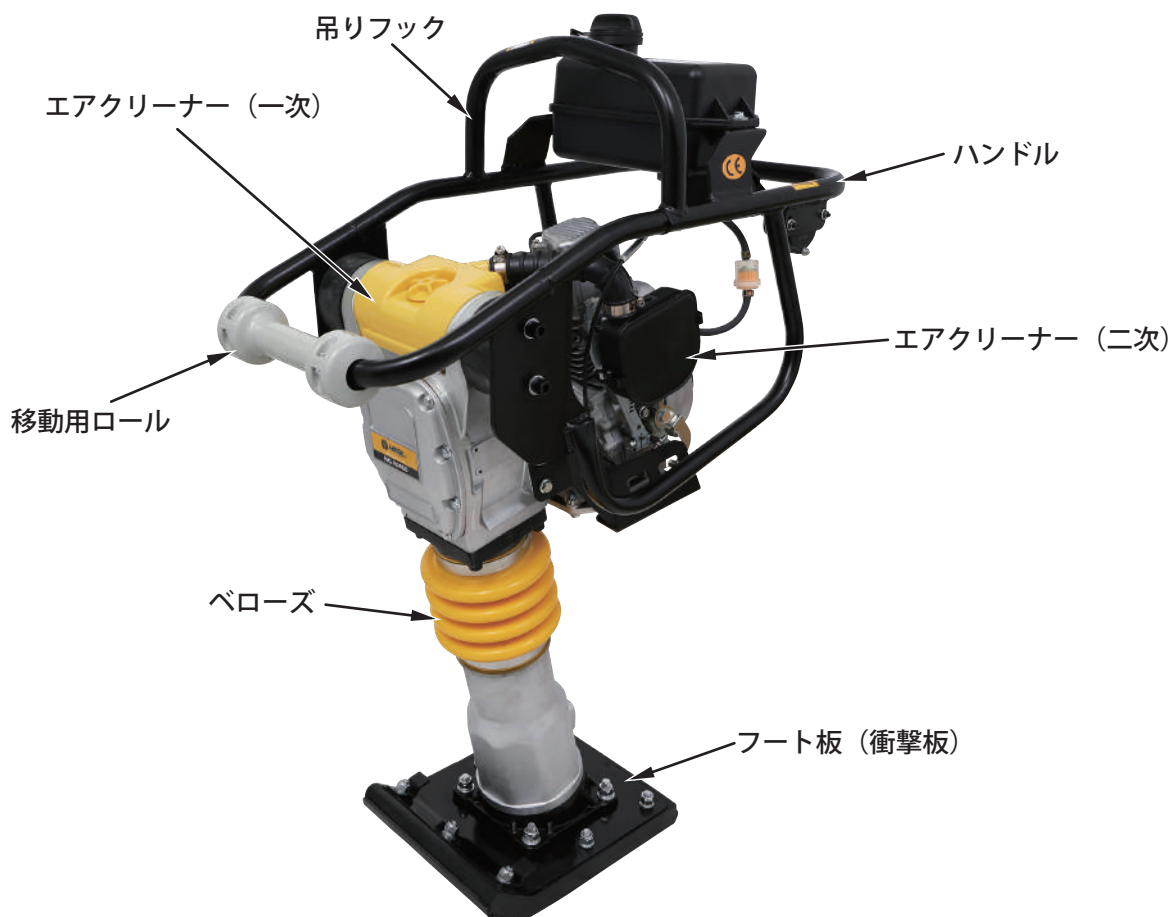
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。



各部の名称

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。



梱包部品一覧表

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、すべてが完全であることを確認してください。
 2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
 3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。
- 不足している場合は、お手数ですがハイガー産業株式会社までご連絡ください。

警告

・不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

A. 本体



B. 移動用車輪



C. 工具★



※プラグレンチ以外は、通常使用しない工具です。
内容物に変更になる場合があります。

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。

★サービス品です。予告なく終了する場合があります。

【本体の取り出し方】

※製品保護フレームにバリがある場合がありますので、手袋着用ください。

※重量物のため、2人以上で行ってください。



運転前の点検

警告



- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。



- ・燃料を補給する時は必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。

注意



- ・燃料キャップは確実に締めてください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜取り、火気のないところに保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。

燃料の点検・補充

使用燃料	自動車用無鉛ガソリン(レギュラーガソリン)
タンク容量	2.6L

燃料（無鉛ガソリン）の量を点検します。
出荷時は入っていません。

- 1 燃料タンクキャップを外します。



- 2 液面を見て残量を確認します。



- 3 少ない時は、少しずつこぼさないように給油します。

- 4 給油が終わったら、燃料タンクキャップが「カチッ」と音がするまでしっかり締めます。

エンジンオイルの点検

エンジンオイルは出荷時には入っていません。

必ず給油してください。また、工場を試運転をしているため、若干オイルが残っている場合があります。給油の際は、オイルゲージで確認してください。

推奨オイル	4サイクルガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30 ・寒冷地はSAE5W-30
オイル容量	約0.35L

- 1 フート板の下に枕木等を挿込み、エンジンが水平になるようにします。



- 2 オイル給油キャップを外し、オイルゲージを布などで拭取ります。



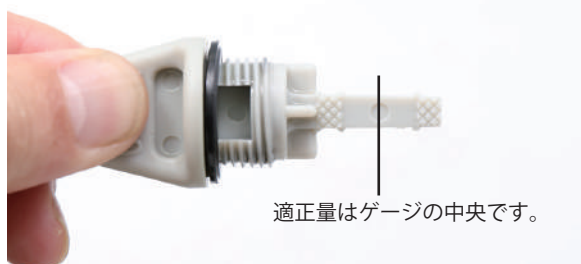
運転前の点検

- 3** オイル給油キャップを取付け一旦締付け、再度外します。

⚠ 注意

- ・エンジンオイルを規定量以上に給油しないでください。エンジン不調になる恐れがあります。
- ・こぼれたエンジンオイルは必ず拭き取ってください。

- 4** オイルが、オイルゲージのオイル量範囲(中央)まであるか点検します。



- 5** オイル量が少ない時は、新しいオイルを補給します。

- 6** 給油が終わったらオイル給油キャップをしっかり締めます。

本体オイルの点検・補充

本体にオイルは入っています。

運転前には、オイル確認窓でオイルの色・量を確認してください。

推奨オイル	4サイクルガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30
オイル容量	約0.8L

- 1** オイル量は、オイル確認窓の中間くらいです。不足している場合は、オイル給油口のボルトを外し補充をします。

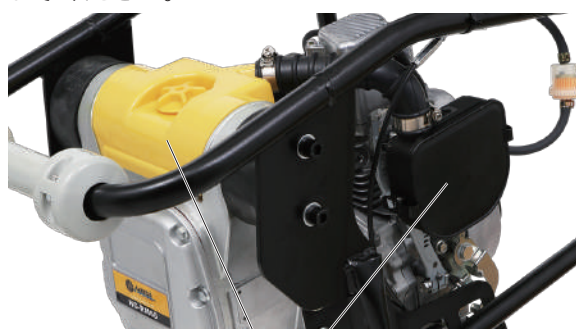


- 2** オイルが汚れている場合は、オイル交換が必要です。(詳細は、P.21 を参照)

エアクリーナーの点検

エアフィルタの汚れを点検し、汚れている場合は清掃を行ってください。

- 1** エアクリーナーは 2 ヲ所あります。両方とも確認してください。



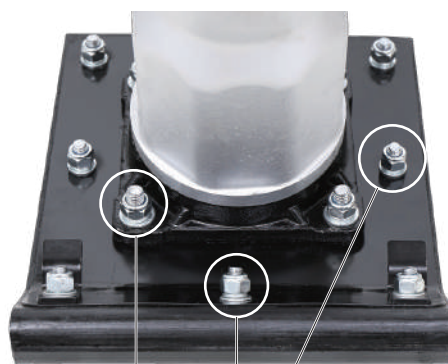
エアクリーナー

- 2** エアフィルタが汚れていればエアブロー等で吹き飛ばします。汚れがひどい場合は、エアフィルタの交換が必要になります。(詳細は、P.18 参照)

フート板のボルト、ナットの点検

フート板(衝撃板)の取付ナット、板押えナットは、長期間使用しているとフート板(衝撃板)が摩耗し隙間ができ、ボルト、ナットが緩んだり、振動で緩む場合があります。必ず運転前に確認してください。

緩んでいたら放置せず、増し締めをしてください。



フート板(衝撃板)の取付ナット 板押えナット

運転操作の仕方

警告



禁止

- ・振動障害の予防策として長時間の連続使用はしないでください。
- ・燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので高温部に触れないでください。



指示

- ・平坦な場所で作業を行ってください。
- ・エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- ・本機から離れる時は必ずエンジンを停止してください。
- ・少しの移動でもエンジンを停止してください。

注意

- ・エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

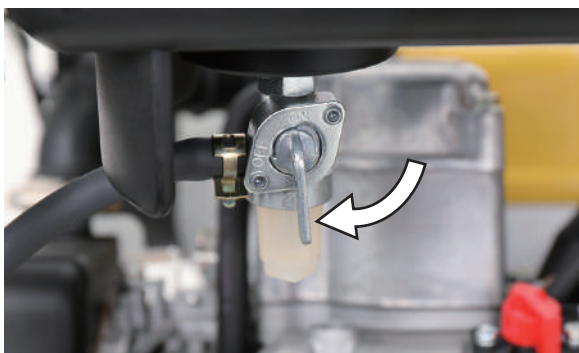
エンジンのかけ方

- レギュラーガソリンを入れましたか？
- エンジンオイルを入れましたか？
- エアフィルタの汚れ確認しましたか？

1 アクセルレバーを、「MIN (低速) 側」に倒します。



2 燃料コックを「ON」にします。
※写真の位置が「ON」です。



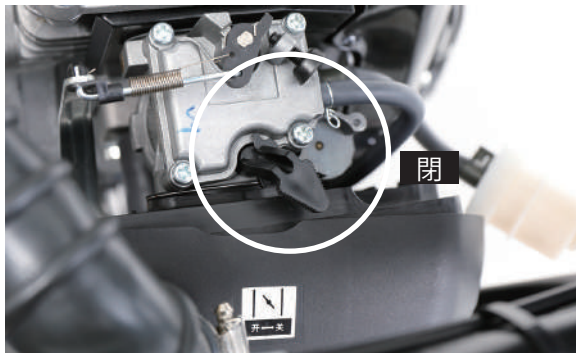
3 エンジンスイッチを ON「 | 側」にします。



■エンジンが冷えている時のかけ方

※外気温には関係なく、エンジンそのものが冷えている場合です。翌日の再始動などがこれに当たります。

1 チョークレバーを「閉」にします。
※写真の位置が「閉」です。



※運転停止直後の再始動をする場合には、チョークレバーを「全開」もしくは「半開」にします。

運転操作の仕方

2 本機をしっかり保持し、リコイルスターターロープを引きます。

※ロープを引き出すと止まる位置があるので、そこから素早く引きます。おおよそ60~70cm引きます。(ロープは一杯に引ききらないでください。) 引きが少ないとエンジンはかかりません。



⚠ 注意

何度もチョークを閉じたままリコイルスターターロープを引くと、点火プラグを濡らしてしまいます。万が一、濡らしてしまった場合は、P.25をご覧ください。

👉 リコイルの引き方ポイント

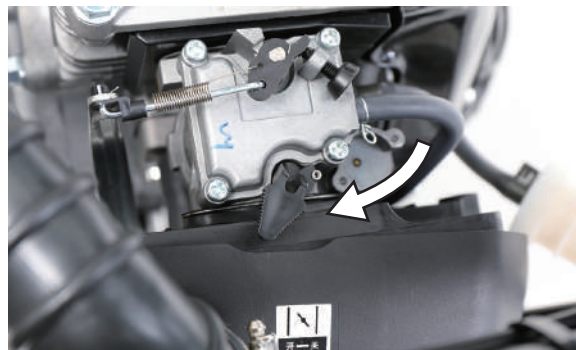


- ①良い例：約70cm引いている所。
- ②良い例：穴に対してロープが真っ直ぐ。
- ③悪い例：抵抗がありエンジンがかかりにくく、ロープが摩擦で切れます。

■エンジンがかかったら

1 エンジンがかかったらすぐチョークレバーを「開」にします。

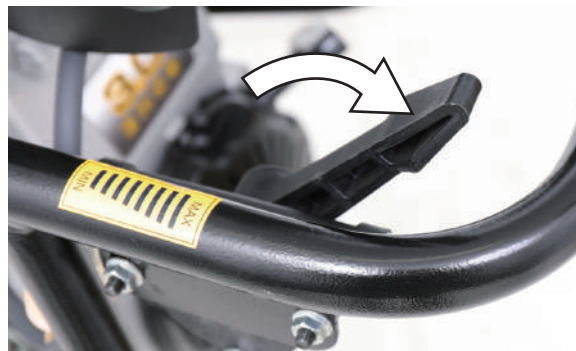
※写真の位置が「全開」です。



2 エンジンが始動したら1~2分程度暖気運転をします。

3 エンジンが止まりそうなら、エンジンを一旦止め、アイドルリングの調整を行います。(P.21 参照)

4 アクセルレバーをアイドルリング「MIN(低速)側」から運転「MAX(高速)側」の位置へ倒すと、タンピングランマーが作動を始めます。



⚠ 注意

- ・アクセルレバーの操作をゆっくり行くと半クラッチ状態が続き、クラッチが破損する恐れがあります。また、乱振動を起こしますのでアクセルレバーは素早く動かしてください。
- ・作業を中断する時は、その都度アクセルレバーを「MIN(低速)側」にしてください。

⚠ 警告

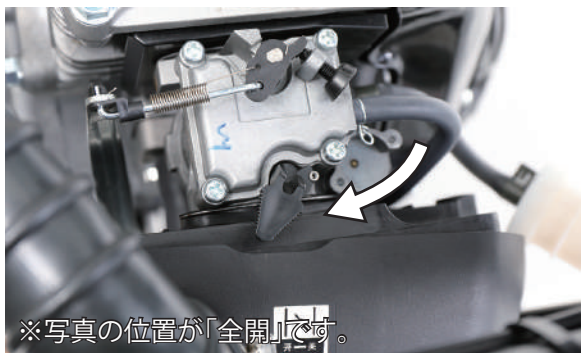
- ・作業中は、フート板(衝撃板)に足を近づけたり、フート板(衝撃板)に足を乗せたりしないでください。フート板(衝撃板)で足を挟まれ 大変危険です。
- ・傾斜地での作業は、転倒に十分注意してください。

運転操作の仕方

■エンジンが温まっている時のかけ方

※外気温には関係なく、エンジンそのものが温まっている場合です。再始動などがこれに当たります。

- 1 チョークレバーを「全開」にします。



- 2 本機をしっかり保持し、リコイルスターターロープを引きます。

※ロープを引き出すと止まる位置があるので、そこから素早く引きます。おおよそ60~70cm引きます。(ロープは一杯に引ききらないでください。) 引きが少ないとエンジンはかかりません。



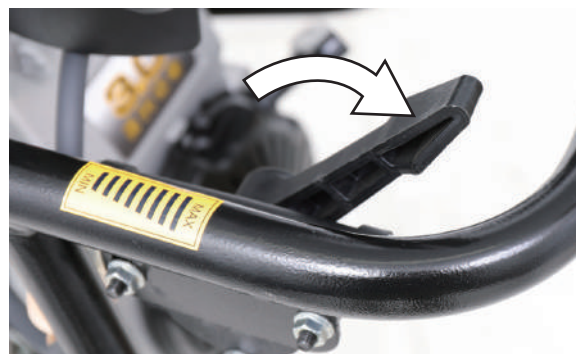
⚠ 注意

- ロープを最後まで引き切らないでください。
- 一度に6回以上は引張らないでください。
- 引いたリコイルスターターは途中で放さずに、ゆっくり戻してください。

- 3 エンジンがかからない場合は、P.12の「エンジンが冷えている時のかけ方」を行ってください。

■エンジンがかかったら

- 1 エンジンが始動したら1~2分程度暖気運転をします。
- 2 エンジンが止まりそうなら、エンジンを一旦止め、アイドルリングの調整を行います。(P.21 参照)
- 3 アクセルレバーをアイドルリング「MIN(低速)側」から運転「MAX(高速)側」の位置へ倒すと、タンピングランマーが作動を始めます。



⚠ 注意

- アクセルレバーの操作をゆっくり行くと半クラッチ状態が続き、クラッチが破損する恐れがあります。また、乱振動を起こしますのでアクセルレバーは素早く動かしてください。
- 作業を中断する時は、その都度アクセルレバーを「MIN(低速)側」にしてください。

⚠ 警告

- 作業中は、フット板(衝撃板)に足を近づけたり、フット板(衝撃板)に足を乗せたりしないでください。フット板(衝撃板)で足を挟まれ 大変危険です。
- 傾斜地での作業は、転倒に十分注意してください。

運転操作の仕方

エンジンがかからない時

下記をご確認ください。

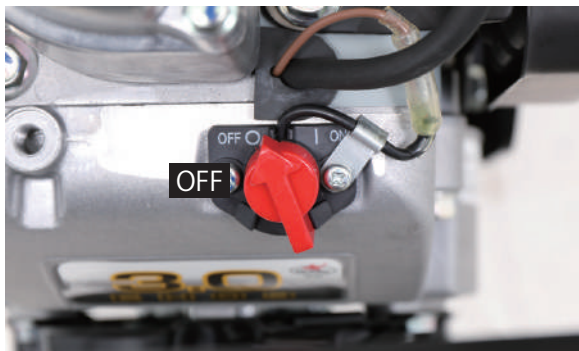
- ✓ レギュラーガソリンを使用していない。又は古い燃料を使用している可能性があります。
- ✓ チョークレバーを「閉」にしていない。
- ✓ エアフィルタが汚れている。
- ✓ リコイルの引き方が正しくない。
- ✓ 燃料が行き過ぎて、点火プラグを濡らしてしまっている可能性があります。

エンジンの止め方

- 1 アクセルレバーを「MIN(低速側)」にし、エンジンを低速運転にします。



- 2 エンジンスイッチをOFF「○側」にするとエンジンが停止します。



⚠ 注意

エンジン停止後しばらくは、エンジン、マフラ等の高温部に触らないでください。やけどの恐れがあります。

本機の移動

近い距離を移動するには、移動用車輪を取付けると便利です。

- 1 車輪がフート板の下に来るようにします。



- 2 写真のように傾けてゆっくり引っ張ります。又は押します。



作業の仕方

警告



禁止

- 本機を連続で長時間使用しないでください。振動障害を発生する恐れがあります。
- 身体の調子が悪い時は、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
- 動作中にフート板（衝撃板）部分の近くに足を近づけたり、足を入れしないでください。
- ご使用時は、使用者から15m内は危険です。人や動物が入らないようにしてください。
- 夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くない時は使用しないでください。
- 足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。
- 作業中に異物に当たったり、異物が巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、完全に停止してから異物を除去し、本機に異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本機を再始動しないでください。
- 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
- 急傾斜地では使用しないでください。



指示

- 本機を1人が連続で長時間使用せずに運転員を交代したり、十分な間隔をあけて使用してください。
- 適切な時期に休憩をとってください。
- 本機から離れる時は、必ずエンジンを停止してください。
- 危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
- 少しの移動でもエンジンを停止し、ハンドルを持って運搬してください。
- しっかりハンドルを握って操作してください。

作業手順

- 1 作業場所の水平な所に移動します。
- 2 エンジンを始動します。（P.11参照）
- 3 暖機運転後、ハンドルをしっかり持って、アクセルレバーを「MAX(高速)側」に倒します。タンピングランマーが作動を始めます。



作業の中断

作業を中断する時は、その都度アクセルレバーを「MIN(低速)側」してください。燃料の節約、エンジンの寿命にも好影響を与えます。

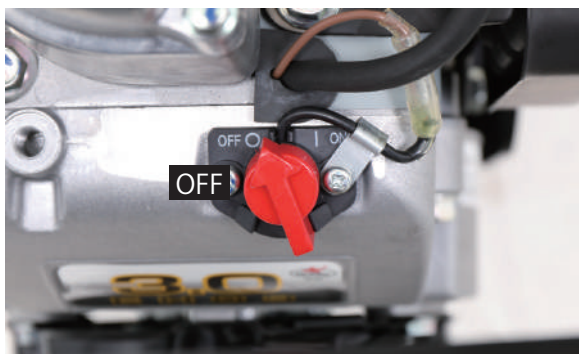
作業の仕方

作業の終了

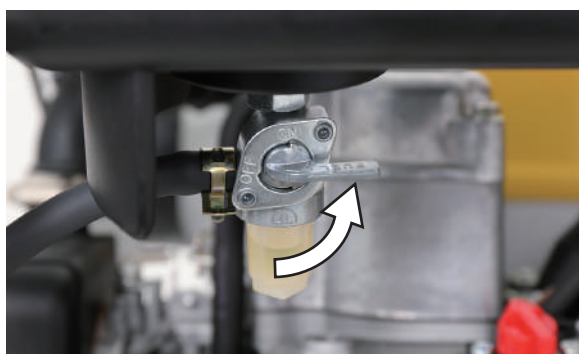
- 1 アクセルレバーを「MIN(低速)側」にしエンジンを低速運転を1~2分行います。



- 2 エンジンスイッチをOFF「○側」にします。



- 3 燃料コックを「OFF」にします。
※写真の位置が「OFF」です。



⚠ 注意

停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。
触れるとやけどすることがありますので高温部に触れないでください。

運搬、輸送について

本機を運搬する時は、次のことに注意してください。

⚠ 警告

- 運搬時は必ずエンジンを停止してください。
- 運搬する場合は、燃料漏れによる火災を防止するため、燃料タンクから燃料を抜き取ってください。
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。
- 作業直後にカバーをかけないでください。エンジンが熱くなっており、火災の原因になります。

⚠ 注意

- 本機を吊り上げる場合は、吊りフックやハンドル等に損傷が無い、ネジ等の緩み、脱落がないか、必ず確認してください。



- 本機の積込み、積降ろしする際は、吊りフックを使用してください。
- やむおえず手作業で本機の積込み、積降ろしする際は、足の上に落としたり、挟まれないよう十分ご注意ください。
- 運搬中に本体が動かないように、ロープなどでしっかり固定してください。
- 本機を倒して、運搬、輸送はしないでください。

点検・整備の仕方

警告

- ・点検整備をする時は、必ずエンジンを停止してから行ってください。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。
- ・点検整備後は、すべての部品を確実に取付けたことを確認してください。

注意

- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- ・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

対象部品	点検項目	運転前の点検	初回の1ヵ月後又は 20時間運転後	3ヵ月毎又は 50時間運転毎	6ヵ月毎又は 100時間運転毎	1年毎又は 300時間運転毎	掲載ページ
燃料	ガソリン量、漏れ	●					P.9
エンジンオイル・ 本体オイル	オイル量	●					P.9・21
	交換		●	●			P.17.21
エアクリーナー	清掃			●			P.18
	交換					●	P.18
点火プラグ	清掃				●		P.19
	交換					●	P.19

燃料の抜き方

- 1 燃料タンクのキャップを外し、タンク内の燃料を手動のポンプ等で抜きます。
- 2 ○部分のネジを緩めて、ガソリンを容器に受けます。キャブレターの燃料を抜くことができます。



- 3 燃料を抜き終わったら、緩めたネジは、必ずしっかり締めてください。

エンジンオイルの点検・交換

【エンジンオイルの交換】

エンジンオイルは、初回20時間、以降50時間毎に行ってください。

- 1 廃油受けを準備します。
- 2 本機を水平な場所で水平な状態にします。
- 3 オイル給油キャップを外すと、オイルが抜けやすくなります。

- 4 ドレンボルトを外し、オイルを排出します。



- 5 排出が終わりましたら、ドレンボルトを確実に締めます。
- 6 新しいエンジンオイルを、市販のオイルジョッキを使用して入れます。
- 7 新しいエンジンオイルをレベルゲージの中央まで入れます。



推奨オイル	4サイクルガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30
オイル容量	約 0.35L

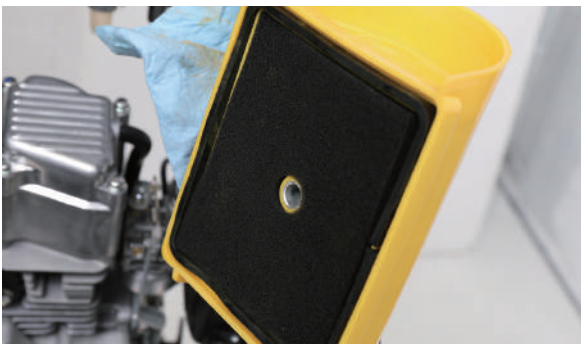
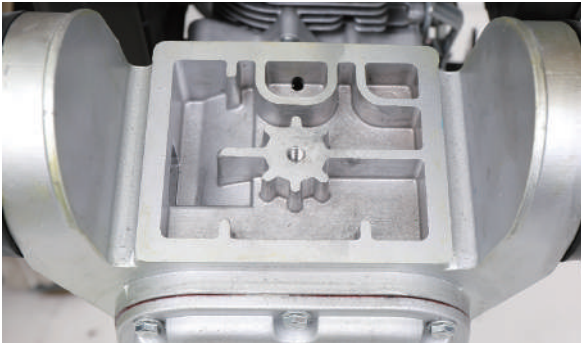
- 8 給油後は、確実にキャップを締めます。

点検・整備の仕方

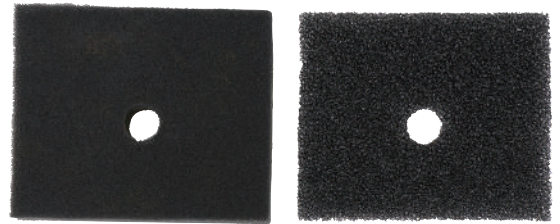
エアクリーナーの清掃

エアクリーナーのフィルタを清掃します。

- 1 一次エアクリーナーカバーのノブを回しカバーを外します。



- 2 エアフィルタを取外し、汚れをエアブロー等で吹き飛ばします。汚れがひどい場合は、中性洗剤入りのぬるま湯で丁寧に洗い、よく乾燥させます。

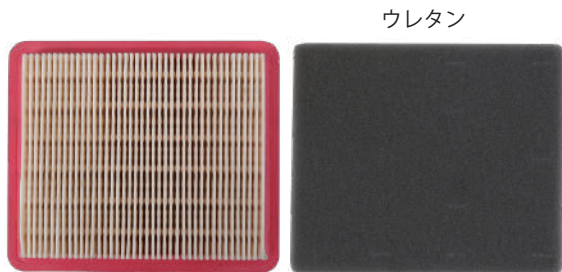


- 3 二次エアクリーナーカバーの 3 カ所のネジを緩め、カバーを外します。



点検・整備の仕方

- 4** エアフィルタを取外し、汚れをエアブロー等で吹き飛ばします。ウレタンの汚れがひどい場合は、中性洗剤入りのぬるま湯で丁寧に洗い、よく乾燥させます。



- 5** エアフィルタが破損したり、汚れが取れない場合は、エアフィルタの交換が必要になります。

- 6** 取外しと反対の手順で取付けます。

点火プラグの点検・清掃

点火プラグを外し、電極の点検・清掃を行います。

■使用工具

プラグレンチ（付属）、ワイヤブラシ

- 1** 点火プラグキャップを取外します。



- 2** 点火プラグをプラグレンチで取外します。



- 3** 点火プラグをワイヤブラシで清掃します。



適応点火プラグ	CR5HSB(NGK)
---------	-------------

- 4** 取外しと反対の手順で取付けます。
※点火プラグは、点火プラグキャップにしっかりとはめてください。はめ込みがあまりいと点火しません。

点検・整備の仕方

フート板(衝撃板)の交換

フート板(衝撃板)に歪みや変形、亀裂、激しい摩耗が確認できたら交換をします。作業は2人以上で行ってください。

■使用工具：19mmボックスレンチ、ハンマー

1 4カ所のナット、ワッシャを外します。



2 本体を持ち上げ、フート板(衝撃板)を外します。



3 新しいフート板(衝撃板)の外側からボルトを通し、きつい場合はプラスチックハンマー等で叩き、隙間がないようにはめ込みます。



4 フート板(衝撃板)のボルトに本体の取付穴を合わせ通します。この時、ネジ山を潰さないようご注意ください。



5 取外しと逆の手順でワッシャ、ナットを取付け、4本を均等に締付けます。

点検・整備の仕方

本体オイルの点検・交換

オイル確認窓でオイルの色を確認してください。
汚れている場合は、交換をしてください。

- 1 オイル確認窓でオイルの色を確認します。



- 2 廃油受けを準備します。

- 3 オイル給油口ボルトを外すと、オイルが抜けやすくなります。

- 4 ドレンボルトを外し、オイルを排出します。



推奨オイル	4サイクルガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30
オイル容量	約0.8L

長期間使用しない時

●本機を2週間以上使用しない時

- 1 燃料タンクから燃料を抜きます。
- 2 エンジンをかけ、燃料切れで停止するまで回し、キャブレター内の燃料を使い切ります。余った燃料は、密封容器に入れ、冷暗所に保管し、1ヵ月以内に使い切ってください。
- 3 各部ボルト・ネジの破損、腐食、緩みの点検をします。
- 4 湿気やホコリが少なく、子供の手が届かない場所に保管してください。
- 5 倉庫、物置などに保管する場合は、マフラーからの虫の侵入を防ぐために、マフラーの穴を塞いでください。

保管

- 1 燃料タンクの燃料を抜取ります。
市販のオイルチェンジャーをご使用いただくと簡単に抜くことができます。
- 2 エンジンを再び始動させ、キャブレター及び燃料パイプ内の燃料を使い切ってください。
- 3 屋内の直射日光があたらない場所に保管してください。

故障と思ったら

●エンジンがかからない

症状	原因	対処
点火プラグに火花が出ていない	点火プラグ不良	交換
	点火プラグキャップ接続不良	点火プラグをしっかりとめる
	イグニッションコイルの不良	メーカー、購入店に問い合わせ
キャブレターに燃料が来ていない	燃料がはいっていない	燃料を入れる
	燃料コックが OFF になっている	燃料コックを ON にする
	燃料タンク内の異物混入による詰まり	ホース清掃、交換 交換、フィルタ清掃
キャブレターに燃料は来ているが、エンジン内に燃料が来ていない	キャブレター詰まり（ニードル・バルブ固着）	キャブレター分解掃除 メーカー、購入店に問い合わせ
	エンジンオイルの入れすぎ	オイルを抜く
	エンジンオイルが少ない	オイルを補充（P.9）
	エンジンオイルにガソリンが混ざっている	清掃、交換（P.17）
	エアクリナーの汚れ	清掃、交換（P.18）
リコイルスターターが引けない又は重い	古い燃料によるエンジン不調	燃料の入替え（燃料の抜き方 P.17）
	エンジンの焼付き	メーカー、購入店に問い合わせ

●エンジン不調

症状	原因	対処
力が弱い	エアクリナーの汚れ	きれいにする又はフィルタの交換
マフラーから煙が出る	チョークレバーの戻し忘れ	「全開」にする
	エンジンオイルの入れすぎ	オイルを抜く
	ガソリンに水分が含まれている	燃料交換
	エアフィルタが水で濡れている	完全に乾かす

●本体の不調

症状	原因	対処
エンジンは回転するが 振幅の不整・打撃しない	アクセルレバーの操作が遅い	操作を早くする
	クラッチのすべり	クラッチの交換

故障と思ったら

点火プラグの点検 ※機種により、プラグの位置、プラグキャップやリコイルの形状等異なります。ご了承ください。

①プラグキャップを外し、付属のプラグレンチでプラグを外し、先端を確認します。



付属のプラグレンチで反時計回りで外します。振動等で緩まないよう少し固めに締め付けています。

先端が濡れている

先端は濡れていない

②燃料で濡れているため布等でよく拭きます。



③リコイルスターターロープを引いて（15～20回）、プラグ穴から燃料が出てこないか確認し、出てきたらよく拭き取ります。

②外したプラグをキャップに取付けます。



③スイッチをONにします。

④プラグ先端をエンジン金属部に当てながら、リコイルスターターを引きます。



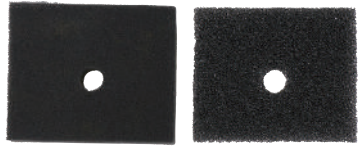
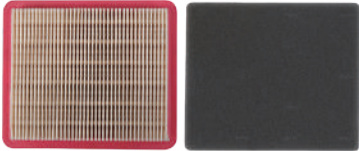
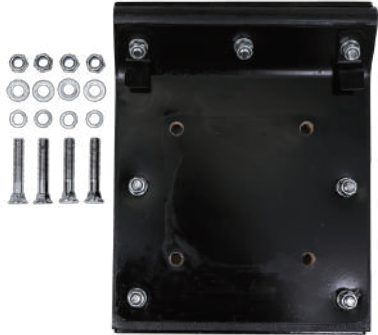
火花が出る

火花が出ない

プラグに異常はありません。プラグ先端の濡れは燃料の行き過ぎで起こります。再度エンジンをかけ、確認ください。それでもかからない場合は、他の原因が考えられます。

エンジンオイル不足かプラグの不良か他の原因が考えられます。購入先にお問い合わせください。

消耗品一覧

商品名	商品コード	
エアフィルタ（一次）	p24	
エアフィルタ（二次）	p25	
フート板（衝撃板）	p26	

使用することで消耗する部品または劣化する部品は全て保証適用外となります。

ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギア・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等

★上記消耗品をご注文の場合は、下記各サイト又は FAX よりご注文ください。



本店サイト ▶ <https://www.haigeshop.net/>

楽天サイト ▶ <https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/>

ヤフーサイト ▶ <https://shopping.geocities.jp/haige/>



FAX.0276-55-2276 ※次ページのFAXお見積り・注文用紙をご利用ください。

※電話でのご注文は、誤発注・誤発送を回避するため、受付けておりません。
ご迷惑・ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

【見積り・注文の流れ】

■見積りの場合

「見積りにチェック」→「太枠内ご記入」→「FAX 送信」→「弊社にて正式金額を FAX 又は TEL でご案内しご注文の有無を確認」

■注文の場合

「注文にチェック」→「太枠内ご記入」→「FAX 送信」→「弊社にて正式金額を FAX 又は TEL でご案内しご注文完了」

通信欄

太枠内をご記入ください。

送信日 令和 年 月 日

<input type="checkbox"/> 見積り	<input type="checkbox"/> 注文	ご連絡方法	<input type="checkbox"/> FAX	<input type="checkbox"/> TEL
------------------------------	-----------------------------	-------	------------------------------	------------------------------

本製品ご購入お客様情報

フリガナ		ご購入時登録の電話番号	
氏名 会社名	様	普段繋がりやすい電話番号	
ご住所 お届け先	〒 ー	FAX 番号	

お届け先情報（上記お客様情報と異なる場合はご記入ください。）

フリガナ		電話番号	
氏名 会社名	様		
お届け先	〒 ー	FAX 番号	

代金お支払い方法 (お振込み期限 7 日) いずれかにチェック をお願いします。 手数料は、お客様 ご負担となります。	<input type="checkbox"/> 銀行振込	みずほ銀行 館林支店 普通口座 1851252	お振込先口座名義人は、 ハイガー・ハイグサンギョウ (カ となります。
	<input type="checkbox"/> 郵便振替	ゆうちょ銀行 記号 10480 番号 32034181	
	<input type="checkbox"/> 代金引換	代引手数料 (1 万円未満：330 円、3 万円未満：440 円、10 万円未満：660 円)	

★弊社で、この FAX 内容を確認後、正式金額をお知らせ致します。

※銀行振込・郵便振替の場合は、入金確認後の商品発送になります。

※代金引換の場合は、商品お届け運送会社に商品代金＋代引手数料ををお支払いください。

商品名	商品コード	数量	単価 (税込) 円	金額 (税込) 円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
備考			送料	円
			代引手数料	円
			合計	円

本規約は、ハイガー産業株式会社(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定が出来ない場合、保証が受けられない可能性がございます。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
 - (11) 機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
 - (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
 - (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーペン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
- (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡いただきたく存じます。
またはお近くの修理協力店へご連絡くださいませ。
症状・使用状況を伺い、お手順方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料や水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合がございます。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただく場合がございます。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する場合がございます。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しできない場合がございます。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
- ・無在庫転売者(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
 2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
 3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
 4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
 5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

お客様ご相談窓口

故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料は全てお客様のご負担となります。

お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。

④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

ハイガー産業または販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認

故障部品をメーカーで修理する場合

ネット購入や弊社で電話・FAXにてご購入の場合は、弊社にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担となります。

お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。

②送料お客様ご負担で故障装置を発送してください。

⑤お見積り提示。

⑥送料お客様ご負担で、故障装置を発送いたします。

ハイガー産業

- ③受付
- ④故障内容の確認
- ⑥お見積り了承
- ⑦故障装置の修理

故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担となります。
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

お客様

①故障の状況をお電話でご連絡ください。その際、持ち込み修理*1か、引取り修理*2か、出張修理*3かを相談させていただきます。

⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。
※ご希望に応じて相談させていただきます。

販売・修理店

- ②受付
 - ③故障内容の確認
 - ④故障装置の修理
- *1 お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。
*2 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。
*3 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。

●お問い合わせ先：下記カスタマー・サポート・センター

販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

オフィシャルサイト ▶ <http://www.haige.jp/agency.html> ハイガー修理 検索

本店サイト ▶ <https://www.haigeshop.net/html/page3.html>

楽天サイト ▶ <http://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/after.html>

ヤフーサイト ▶ <https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

「製品のお困り事」は、カスタマー・サポート・センターへ。

「製品が利用できない」、「故障かな?」、「修理をしたい」、「パーツを購入したい」など、下記カスタマー・サポート・センターへ、お問い合わせください。



24時間365日
無休受付



カスタマー・サポート・センターお問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>



ハイガー産業 株式会社
〒370-0503
群馬県邑楽郡千代田町赤岩3072-3
ハイガー 検索
<http://www.haigeshop.net/>



緊急の方へ

電話窓口

ご協力をお願い

重要なお問い合わせ

0276-55-2275

○受付：月～金曜日 10:00～15:00 ○受付中止：月～金曜日 12:00～12:50
◎定休日：土曜日、日曜日、お盆、年末年始、GW

お電話が殺到しており、繋がりにくい状態が続いております。ご迷惑をおかけしますが、緊急の場合を除き、インターネットからお問合せください。お電話を頂く場合は、上記の URL のカスタマー・サポート・センターの「お問合せフォーム」を必ずご参考のうえ、お問い合わせください。ご対応に必要な事項が記載されています。